

# 静岡県月例経済報告

(令和元年10月号)

……令和元年8月を中心とした県内経済のすがた……

No. 5 2 2

— 静岡県経済産業部 —

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・需要面 .....	4
・生産面 .....	12
・雇用面 .....	14
・その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、令和元年8月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

令和元年8月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが期待されるものの、消費税率引き上げの影響や海外の政治経済情勢などに注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、弱含んでいる。
- ・ 生産は、弱含んでいる。

## 需要面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(8月)は、百貨店が12か月連続、スーパーが5か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(8月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターがいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(8月)は、乗用車が2か月連続、軽自動車が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(8月)は、貸家は前年実績と同水準、持家、分譲住宅がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(8月)は、5か月連続で前年実績を上回った。

### 「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(令和元年10月1日)の令和元年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(8月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

### 「輸出は、弱含んでいる」

#### 「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（8月）は、エアコンが6か月ぶり、科学光学機器が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が4か月ぶり、自動車、自動車の部分品がいずれも5か月連続、二輪自動車類が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額（8月）は、紙類及び同製品が2か月連続、原動機が5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品、木材がいずれも2か月ぶり、パルプが2か月連続、自動車の部分品が5か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、792億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、弱含んでいる」

鉱工業生産指数（7月）は、はん用・生産用・業務用機械が12か月連続、電気機械が2か月ぶり、化学が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品が5か月ぶり、食料品・たばこが5か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械が6か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（7月）は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（8月）は1.57倍で、前月と同水準だった。また、67か月連続で1倍を上回った。なお、5か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（8月）は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（7月）は、6か月連続で前年実績を下回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（8月）は、前年同月比 1.8%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（8月）は、前年同月比 15.4%減と前年実績を下回った。

### 「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（9月）は、件数は20件（前年同月比 100.0%増）、負債総額は15億4,200万円（同132.9%増）といずれも前年実績を上回った。

## <トピックス> 世界お茶まつり2019～秋の祭典～

### 「茶の都しずおか」に世界が集う4日間！

11月7日から4日間、世界各国からお茶に関する「人」「もの」「情報」が集まるお茶の総合イベント「世界お茶まつり2019 秋の祭典」がグランシップ（静岡市）で開催されます。

今回は、「つなごうO-CHA」をテーマに、「茶の都しずおか」からお茶の魅力を世界に発信します。ぜひ会場にお越しいただき、お茶をもっと身近に感じてください。

#### 「世界お茶まつり2019 秋の祭典」の開催概要

開催日	令和元年11月7日（木）～10日（日）
開催場所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
実施主体	第7回世界お茶まつり実行委員会
テーマ	「つなごうO-CHA」
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年層への需要喚起</li> <li>・ 新たなお茶の飲み方・お茶を飲む空間の提案による新たな喫茶文化の創出</li> <li>・ オリパラ文化プログラムへの登録</li> <li>・ 環境への配慮とSDGs（持続可能な開発目標）の推進</li> </ul>

#### ○主なプログラム

##### 【産業】

- ・ ワールドO-CHAメッセ  
お茶、茶関連商品などの展示販売、商談する総合見本市
- ・ まるのみしずおか  
静岡県内で作られた個性豊かな山のお茶の試飲・販売

##### 【文化】

- ・ 日本茶喫茶スタイルコンペティション  
行ってみたい、日本茶を飲んでみたいと思える  
喫茶スタイルや空間の仮設店舗での再現、喫茶営業
- ・ 狂言の世界に見る茶の伝統  
古くから人々に親しまれてきたお茶を、700年の歴史を持つ狂言で紹介する。

##### 【学術】

- ・ 産業・文化・学術セミナー  
お茶や茶産業に新しい魅力を提案したり、お茶に関する文化や歴史をわかりやすく開催するセミナーやワークショップの開催
- ・ 世界緑茶会議2019  
世界の緑茶市場拡大に向けて、各国のお茶専門家や研究者が最新情報を報告、今後の展望について議論

お茶に関する産業・文化・学術の総合イベント  
OCHA 2019

## 世界お茶まつり2019

World O-CHA (Tea) Festival 2019, Shizuoka, Japan

**秋の祭典** 2019.11.7(木)～10(日)  
静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市)

茶関連商品の展示・販売、世界各国のお茶を楽しむプログラム、茶の機能性に関する学術研究成果の共有など、お茶の魅力を発信します。

**ワールドO-CHAメッセ**  
国内外のお茶や関連商品が一気に集まり、展示・販売を行う総合見本市です。

**日本茶喫茶スタイルコンペティション**  
日本茶の新たな喫茶スタイル・空間を提案するプログラムです。秋の祭典では、公募があった提案の中から、最優秀賞の作品を再現し、喫茶営業を行います。

**JR東静岡駅南口隣接** グランシップには駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。  
静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」  
静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1

【問合せ先】 第7回世界お茶まつり実行委員会  
【Tel】 054-202-1488 【Mail】 wof@pref.shizuoka.lg.jp 【URL】 https://www.ocha-festival.jp/2019/

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

8月 = 34,021百万円

\*前年同月比： 1.4%減

(県内3百貨店、135スーパー合計)

<概況>

8月の大型小売店販売額は34,021百万円で、前年同月比 1.4%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.7%減）が12か月連続、スーパー（同 1.1%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 0.9%増）が5か月ぶり、身の回り品（同 1.4%増）が8か月ぶり、家庭用品（同 1.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、飲食料品（同 1.6%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%増と、5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	34,284	29,545	34,354	31,906	32,493	33,195	33,415	34,021
前年同月比(%)	▲6.5	▲4.5	1.7	▲2.0	▲2.4	▲2.0	▲5.8	▲1.4
うち百貨店(%)	▲3.5	▲0.9	▲1.1	▲3.3	▲8.6	▲5.4	▲8.8	▲2.7
スーパー(%)	▲7.3	▲5.3	2.4	▲1.7	▲0.9	▲1.2	▲5.0	▲1.1
(参考1)全国前年同月比(%)	▲3.3	▲1.8	0.6	▲1.8	▲0.5	▲0.5	▲4.8	0.4
うち百貨店(%)	▲3.3	▲0.1	▲0.2	▲1.5	▲1.1	▲1.2	▲3.3	2.0
スーパー(%)	▲3.4	▲2.7	1.0	▲1.9	▲0.2	▲0.1	▲5.5	▲0.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲5.8	▲4.1	3.1	▲1.0	▲1.4	▲0.5	▲5.1	0.5

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
衣料品	▲6.7	▲7.2	0.8	▲7.3	▲2.4	▲2.2	▲12.1	0.9
うち紳士服・洋品	▲9.7	▲9.9	4.7	▲6.8	▲0.1	▲3.4	▲13.7	4.1
婦人・子供服・洋品	▲4.6	▲7.0	▲0.4	▲7.7	▲2.5	▲2.0	▲11.3	1.4
身の回り品	▲4.5	▲0.9	▲1.3	▲8.2	▲6.7	▲4.4	▲11.6	1.4
飲食料品	▲6.1	▲4.2	2.1	0.3	▲1.7	▲1.4	▲3.2	▲1.6
家庭用品	▲15.0	▲8.9	6.4	▲2.4	▲2.5	2.9	▲12.6	1.0
うち家庭用電気機械器具	▲1.5	1.4	14.6	12.2	16.0	17.6	▲13.1	24.6

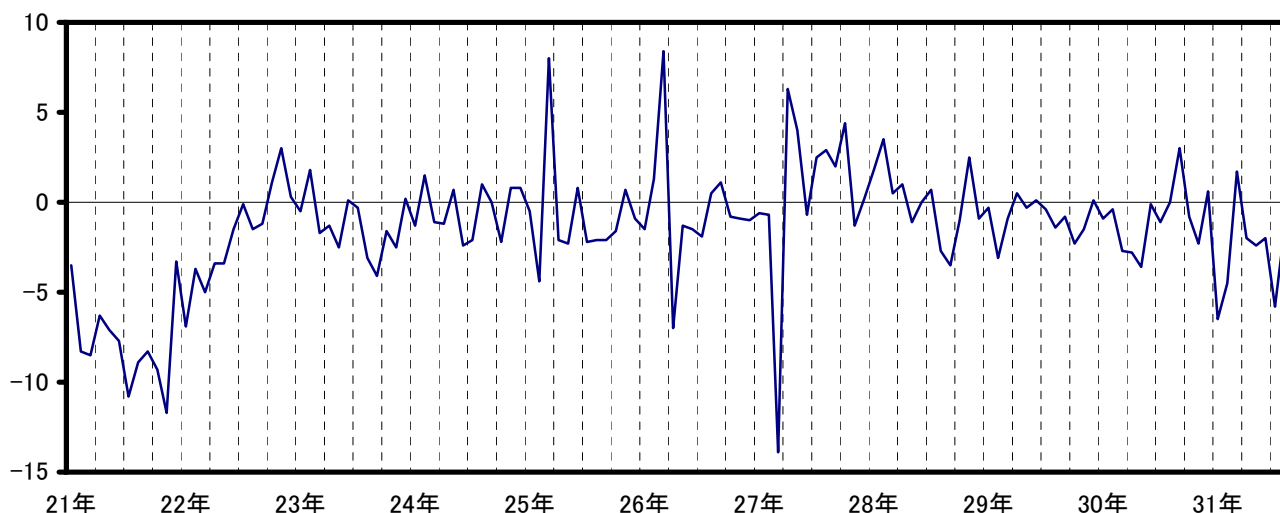
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

8月 = 75,575百万円

\*前年同月比： 4.8%増

(県内87家電大型専門店、1,695コンビニエンスストア、494ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

8月の専門量販店等販売額は75,575百万円で、前年同月比 4.8%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 14.9%増）、コンビニエンスストア（同 0.7%増）、ドラッグストア（同 6.4%増）、ホームセンター（同 5.5%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	66,381	60,495	71,028	67,913	69,548	68,690	72,912	75,575
前年同月比(%)	2.6	3.0	3.8	1.9	3.4	2.9	▲ 5.1	4.8
うち 家電大型専門店(%)	▲ 0.5	0.8	5.5	0.8	7.2	8.4	▲ 14.6	14.9
コンビニエンスストア(%)	1.9	2.8	0.9	2.0	2.1	1.1	▲ 3.5	0.7
ドラッグストア(%)	6.3	5.6	8.5	4.8	5.0	4.6	▲ 0.4	6.4
ホームセンター(%)	▲ 1.1	▲ 1.7	0.6	▲ 4.2	1.2	▲ 0.5	▲ 10.3	5.5
(参考)全国前年同月比(%)	2.2	2.7	3.0	1.6	4.3	3.1	▲ 3.0	5.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

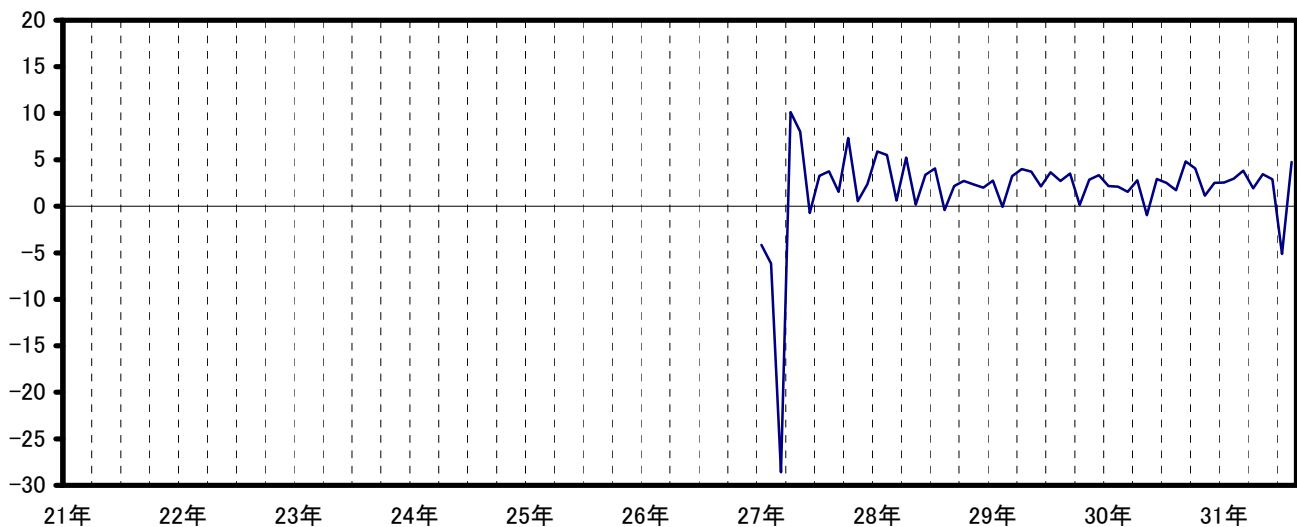
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

8月 = 12,987台

\*前年同月比： 8.1%増

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

8月の自動車(新車)新規登録台数は12,987台(前年同月比 8.1%増)と、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 0.8%増)が2か月連続、軽自動車(同 17.2%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
登録台数(台)	15,664	17,761	22,140	12,617	13,456	15,436	15,791	12,987
前年同月比(%)	2.0	▲0.7	▲4.6	6.2	9.1	▲1.2	8.0	8.1
(参考)全国前年同月比(%)	0.9	▲0.1	▲5.3	3.3	6.4	▲2.2	2.9	4.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

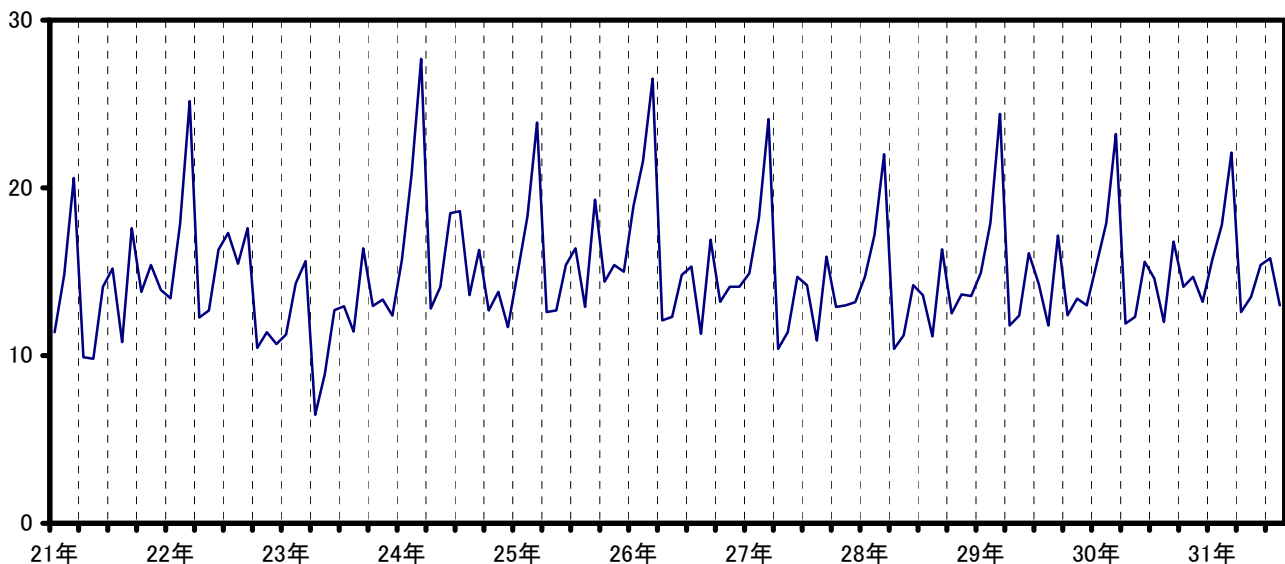
	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
全乗用車	2.0	▲0.7	▲4.6	6.2	9.1	▲1.2	8.0	8.1
乗用車	3.2	▲2.9	▲7.3	4.3	3.1	▲5.3	6.5	0.8
軽自動車	0.7	2.0	▲1.1	8.4	17.0	4.0	9.9	17.2

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

8月 = 2,013 戸

\*前年同月比： 6.5%減

### <概況>

8月の新設住宅着工戸数は2,013戸で、前年同月比 6.5%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 4.8%減）、分譲住宅（同 19.2%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。貸家は前年実績と同水準だった。

### <最近の動き>

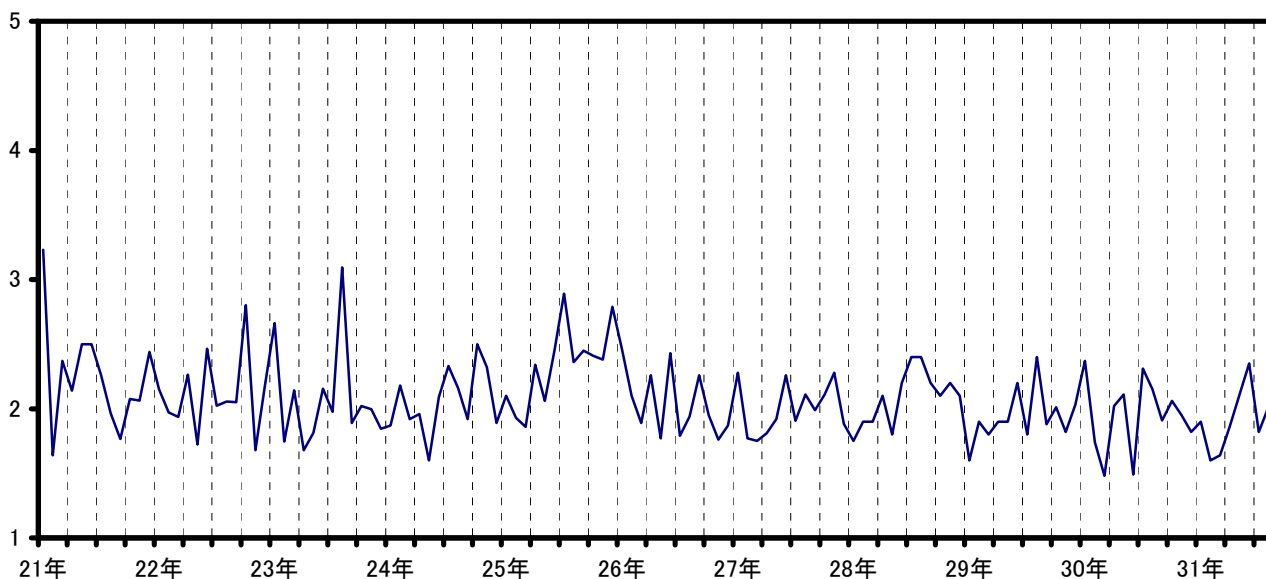
	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
戸数 (戸)	1,897	1,603	1,642	1,855	2,110	2,349	1,821	2,013
前年同月比 (%)	▲ 19.9	▲ 8.0	10.7	▲ 7.9	0.1	57.8	▲ 21.1	▲ 6.5
うち持家 (%)	1.9	7.7	8.6	0.1	11.0	34.5	▲ 2.8	▲ 4.8
貸家 (%)	▲ 11.8	▲ 8.4	15.8	▲ 35.0	▲ 26.6	96.6	▲ 33.0	0.0
分譲住宅 (%)	▲ 61.1	▲ 36.7	8.1	23.8	20.4	74.7	▲ 45.2	▲ 19.2
(参考)全国前年同月比 (%)	1.1	4.2	10.0	▲ 5.7	▲ 8.7	0.3	▲ 4.1	▲ 7.1

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

8 月 = 30,036百万円

\* 前年同月比： 5.9%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

8月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は30,036百万円で、前年同月比 5.9%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は761件で、前年同月比 11.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
金額（百万円）	9,431	10,706	14,499	81,539	32,518	41,211	42,486	30,036
前年同月比（%）	▲ 1.5	28.6	▲ 11.4	32.7	6.0	35.3	42.9	5.9
年度累計前年同月比（%）	11.3	11.8	10.5	32.7	23.8	26.6	29.8	26.1
件数（件）	315	166	268	559	573	670	881	761
前年同月比（%）	▲ 14.6	▲ 10.3	37.4	▲ 4.6	1.6	▲ 5.2	1.0	▲ 11.2
年度累計前年同月比（%）	2.6	2.3	3.2	▲ 4.6	▲ 1.6	▲ 3.0	▲ 1.7	▲ 4.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

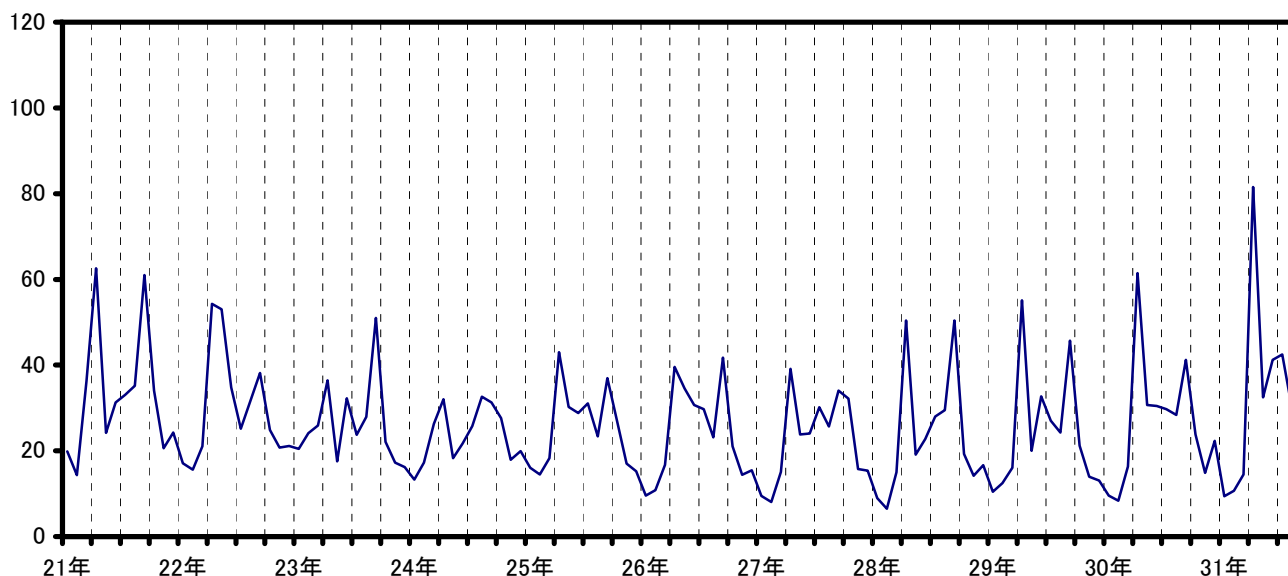
	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
国	130.2	58.0	43.6	64.0	▲ 61.3	1.0	27.0	60.8
独立行政法人等	▲ 4.8	▲ 21.9	▲ 79.9	53.4	206.6	162.1	44.7	41.5
県	▲ 62.0	35.0	▲ 49.5	▲ 14.7	16.6	22.6	43.4	▲ 14.4
市 町	68.3	35.2	34.1	42.6	66.0	0.9	46.5	6.5
地方公社	▲ 98.3	-	-	2.1	▲ 94.4	974.1	351.9	1,143.7
その他	14.7	19.1	647.0	34.2	▲ 56.3	308.9	59.0	▲ 6.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で減少、非製造業で増加し、全産業で増加の実績となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加の実績となっている。

令和元年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.5%増）で増加、非製造業（同 0.9%減）で減少し、全産業（同 11.6%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 12.8%増）、非製造業（同 1.9%増）、全産業（同 9.7%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

8月の着工建築物床面積（非居住用）は118,214㎡で、前年同月比 23.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (実績)	R元年度 (計画)
全産業	県	5.7	(1.0) 11.6
	全国	6.6	(0.1) 2.4
製造業	県	▲2.1	(0.1) 24.5
	全国	8.6	(▲0.4) 7.3
非製造業	県	14.7	(2.2) ▲0.9
	全国	5.4	(0.4) ▲0.4

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (実績)	R元年度 (計画)
全産業	県	7.2	(0.3) 9.7
	全国	5.1	(▲0.4) 5.3
製造業	県	4.4	(▲0.5) 12.8
	全国	5.8	(▲0.5) 6.2
非製造業	県	15.3	(2.6) 1.9
	全国	4.4	(▲0.2) 4.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和元年9月調査)」

### <最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	68,477	153,005	76,766	79,421	149,579	162,872	106,559	118,214
前年同月比（%）	▲21.0	24.1	21.0	▲19.9	▲16.8	19.7	▲62.6	▲23.1
(参考) 全国前年同月比（%）	1.0	▲15.1	▲19.3	▲4.0	▲0.5	1.7	0.4	▲5.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R元年6月	9月	12月 (予測)
全産業		5	4	▲1
	製造業	2	▲3	▲8
	非製造業	9	9	5
(参考) 全国・全産業		10	8	2

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年9月調査)」

## 5 輸出

8 月 = 162,445百万円

\* 前年同月比： 6.8%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

8月の清水税関支署管内の輸出総額は162,445百万円で、前年同月比 6.8%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 0.1%増）が6か月ぶり、科学光学機器（同 41.0%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 16.0%減）が4か月ぶり、自動車（同 13.2%減）、自動車の部分品（同 16.9%減）がいずれも5か月連続、二輪自動車類（同 2.1%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 2.8%減）が5か月連続、米国向け（同 14.7%減）が5か月ぶり、EU向け（同 4.4%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
輸出総額(百万円)	151,102	180,525	201,905	170,166	152,438	176,958	207,661	162,445
前年同月比(%)	▲ 4.0	3.6	8.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 8.4	13.6	▲ 6.8

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
原動機	▲ 0.9	10.9	8.6	▲ 4.6	22.3	14.8	16.4	▲ 16.0
エアコン	▲ 5.0	30.4	▲ 13.5	▲ 16.0	▲ 7.8	▲ 28.8	▲ 7.9	0.1
自動車	165.9	▲ 13.5	77.2	▲ 38.3	▲ 27.5	▲ 18.9	▲ 5.8	▲ 13.2
自動車の部分品	▲ 13.2	▲ 7.6	0.8	▲ 13.0	▲ 13.0	▲ 17.4	▲ 14.7	▲ 16.9
二輪自動車類	▲ 8.6	2.7	▲ 15.7	▲ 31.8	▲ 13.2	▲ 16.0	10.0	▲ 2.1
科学光学機器	▲ 17.6	5.0	25.0	25.9	0.0	19.4	43.8	41.0

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
アジア	▲ 12.2	2.5	5.1	▲ 4.0	▲ 4.1	▲ 13.2	▲ 1.7	▲ 2.8
米国	▲ 4.3	8.1	▲ 0.1	3.4	3.9	2.1	58.6	▲ 14.7
EU	20.0	7.0	30.6	▲ 24.0	▲ 5.3	6.8	11.4	▲ 4.4

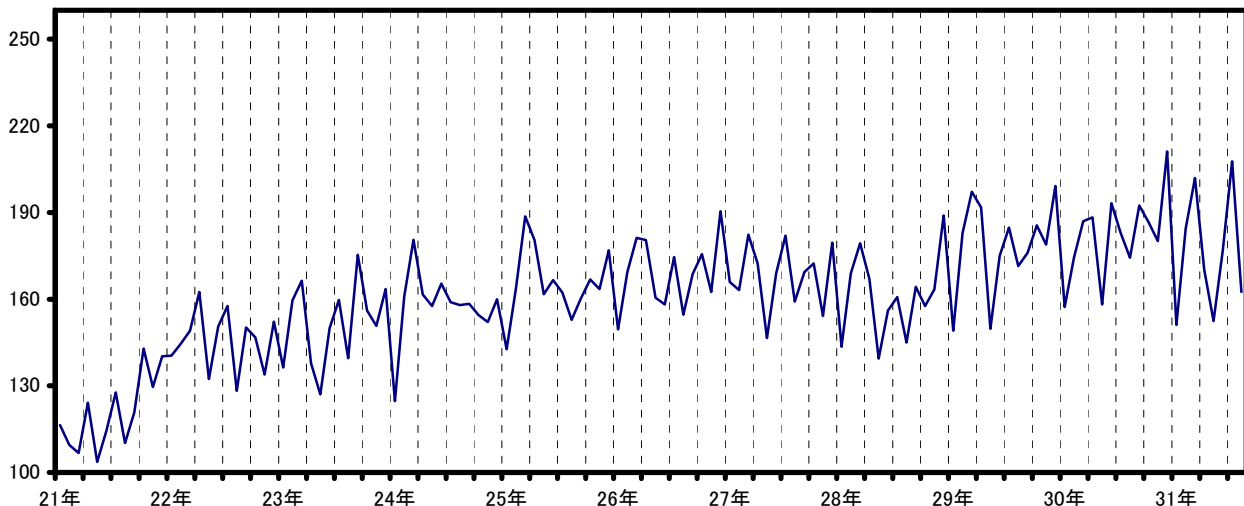
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

8月 = 83,242百万円

\*前年同月比： 6.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

8月の清水税関支署管内の輸入総額は83,242百万円で、前年同月比 6.9%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 26.7%増）が2か月連続、原動機（同 0.9%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 25.5%減）、木材（同 18.3%減）がいずれも2か月ぶり、パルプ（同 0.8%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 34.8%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 10.8%減）が2か月連続、米国から（同 24.1%減）が4か月ぶり、EUから（同 22.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
輸入総額(百万円)	104,381	77,463	90,871	101,284	95,915	87,415	91,543	83,242
前年同月比(%)	16.2	▲ 9.1	15.3	8.0	▲ 2.4	▲ 0.5	▲ 4.6	▲ 6.9

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
魚介類及び同調製品	▲ 7.3	0.7	▲ 21.4	21.8	9.1	▲ 18.9	4.3	▲ 25.5
木材	8.7	▲ 26.3	2.1	1.6	19.4	▲ 3.0	14.8	▲ 18.3
パルプ	37.5	▲ 29.0	▲ 16.1	▲ 3.8	▲ 5.7	6.3	▲ 38.3	▲ 0.8
紙類及び同製品	37.1	▲ 11.0	9.7	17.9	▲ 2.2	▲ 1.5	24.7	26.7
原動機	87.9	36.4	▲ 10.4	45.7	10.0	60.3	34.9	0.9
自動車の部分品	▲ 6.0	6.8	2.7	▲ 14.0	▲ 11.9	▲ 16.8	▲ 41.8	▲ 34.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

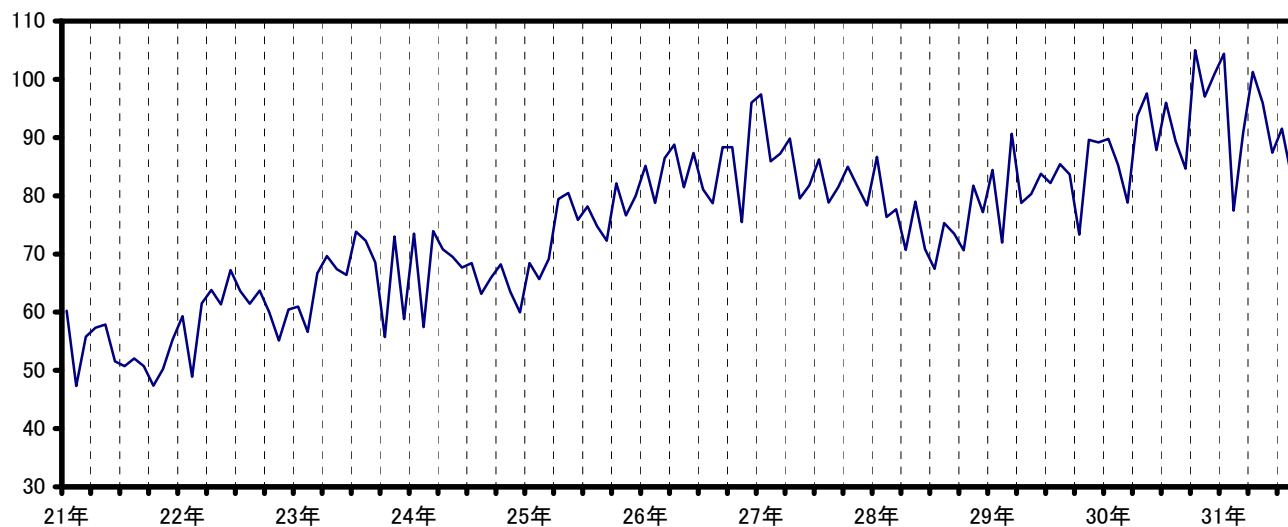
	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
アジア	11.0	3.5	13.8	8.9	▲ 8.0	0.9	▲ 3.3	▲ 10.8
米国	16.4	▲ 27.1	22.5	▲ 20.4	13.9	51.3	46.2	▲ 24.1
EU	▲ 14.0	17.1	▲ 4.0	42.2	9.0	▲ 20.0	12.3	▲ 22.6

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

7月 = 101.0

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.5%増

\*前年同月比(原指数) : 0.4%減

#### <概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は101.0(季節調整済指数)で、前月比2.5%増と、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は0.4%減と、2か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比21.1%増)が12か月連続、電気機械(同0.8%増)が2か月ぶり、化学(同2.0%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同4.3%増)が5か月ぶり、食料品・たばこ(同6.1%増)が5か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同11.8%減)が6か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月
指数	107.1	104.0	101.1	105.6	103.2	103.4	98.5	101.0
前月比(%)	▲0.6	▲2.9	▲2.8	4.5	▲2.3	0.2	▲4.7	2.5
前年同月比(%)	2.1	4.6	0.5	0.0	3.3	1.8	▲6.2	▲0.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.9	0.0	▲1.0	▲4.6	▲1.1	▲1.8	▲4.1	0.7

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.6	19.0	6.7	1.0	17.2	16.2	1.4	21.1
電気機械工業	6.8	13.2	13.9	1.2	1.3	4.5	▲3.1	0.8
輸送機械工業	0.7	0.0	▲5.6	▲3.9	▲1.3	▲4.4	▲18.6	▲11.8
化学工業	▲0.8	1.1	4.4	0.0	11.1	▲5.3	0.8	2.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.3	0.1	1.0	▲2.4	▲2.6	▲6.0	▲5.3	4.3
食料品・たばこ工業	3.4	4.8	▲4.6	7.0	1.3	10.7	1.0	6.1

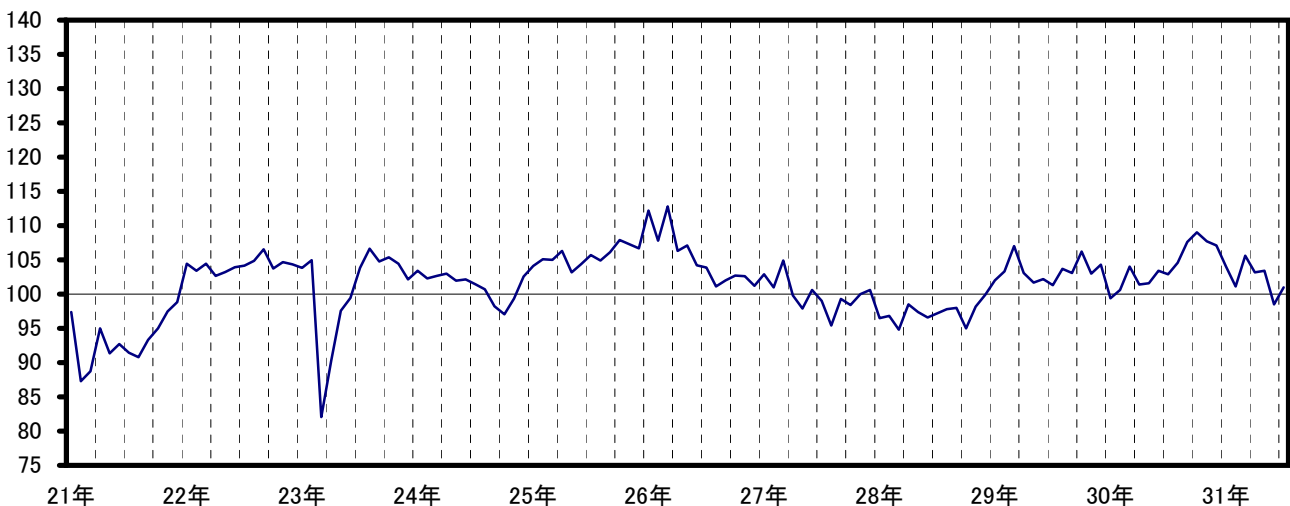
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

7月 = 105.9

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.9%増

\*前年同月比(原指数) : 1.7%増

### <概況>

7月の鋳工業在庫指数(総合)は105.9(季節調整済指数)で、前月比は0.9%増と、4か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は1.7%増と、2か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、輸送機械(前年同月比33.8%減)が7か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同22.1%増)が7か月連続、電気機械(同13.2%増)が3か月連続、化学(同0.7%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同6.9%増)が3か月連続、食料品・たばこ(同25.4%増)が5か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月
指数	114.1	108.8	108.1	114.8	111.4	106.4	105.0	105.9
前月比(%)	5.2	▲4.6	▲0.6	6.2	▲3.0	▲4.5	▲1.3	0.9
前年同月比(%)	9.9	4.8	0.2	2.1	3.2	▲2.3	0.7	1.7
(参考)全国前年同月比(%)	1.9	1.2	1.4	0.4	1.2	1.6	2.9	2.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.7	12.2	13.7	16.6	29.3	26.2	19.9	22.1
電気機械工業	▲3.8	4.4	1.0	0.3	▲0.3	9.9	9.0	13.2
輸送機械工業	0.8	▲25.1	▲41.4	▲38.2	▲32.4	▲35.0	▲32.8	▲33.8
化学工業	56.7	36.1	26.1	15.2	9.6	▲8.2	8.4	0.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲11.1	▲6.7	▲4.0	▲1.5	▲3.1	1.3	2.2	6.9
食料品・たばこ工業	4.2	0.9	▲7.7	12.5	13.2	4.3	7.8	25.4

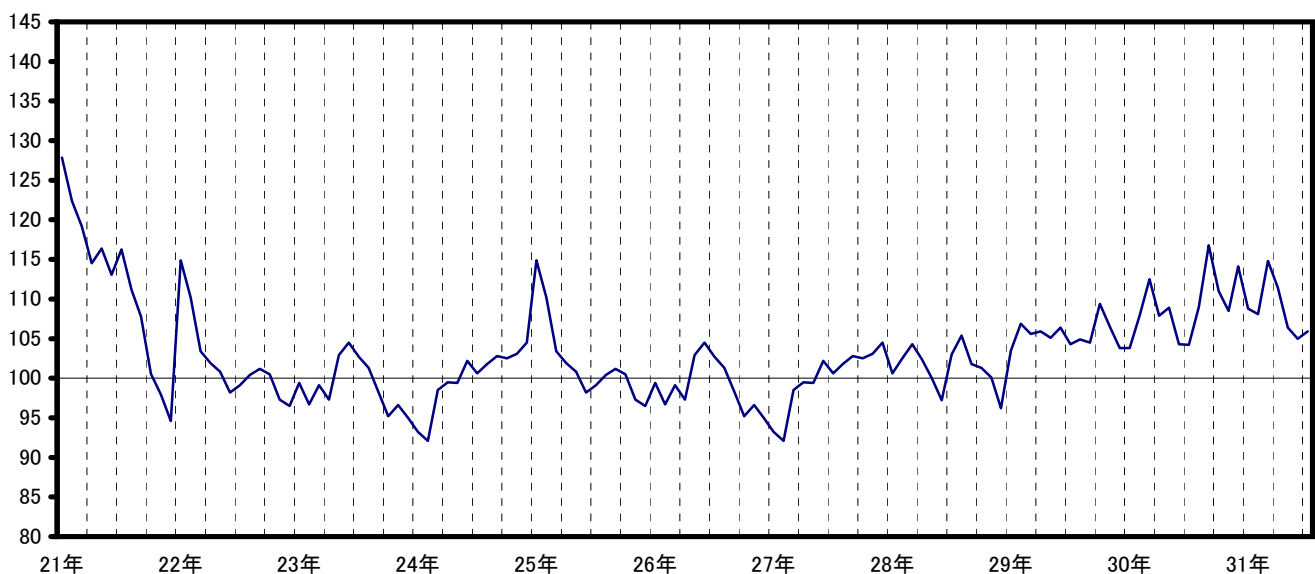
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**8 月 = 1.57倍**

\*前月比（季節調整値）： 同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

8月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.57倍となり、前月と同水準だった。また、5か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 7.3%減）は12か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 0.3%増）が6か月ぶり、医療・福祉（同 5.7%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業（同 18.7%減）が9か月連続、情報通信業（同 21.6%減）が12か月連続、運輸業・郵便業（同 2.9%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 16.4%減）がいずれも4か月連続、卸売業・小売業（同 12.4%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
県	1.69	1.69	1.67	1.61	1.56	1.56	1.57	1.57
全 国	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
建 設 業	▲ 10.0	9.0	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 2.2	▲ 7.7	▲ 9.6	0.3
製 造 業	▲ 5.8	▲ 0.4	▲ 11.6	▲ 6.5	▲ 18.3	▲ 11.2	▲ 7.9	▲ 18.7
情 報 通 信 業	▲ 45.5	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 41.5	▲ 8.4	▲ 24.1	▲ 24.6	▲ 21.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	3.4	▲ 2.5	7.8	0.1	▲ 6.2	▲ 3.8	▲ 9.8	▲ 2.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 11.1	▲ 11.9	7.2	▲ 25.4	▲ 16.2	4.7	▲ 0.9	▲ 12.4
医 療 ・ 福 祉	▲ 12.1	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 6.2	▲ 0.4	3.8	0.1	5.7
サービス業（他に分類されないもの）	11.4	▲ 13.0	▲ 15.3	1.7	▲ 29.8	▲ 11.8	▲ 15.4	▲ 16.4
合 計	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 6.6	▲ 5.8	▲ 12.1	▲ 4.7	▲ 5.9	▲ 7.3

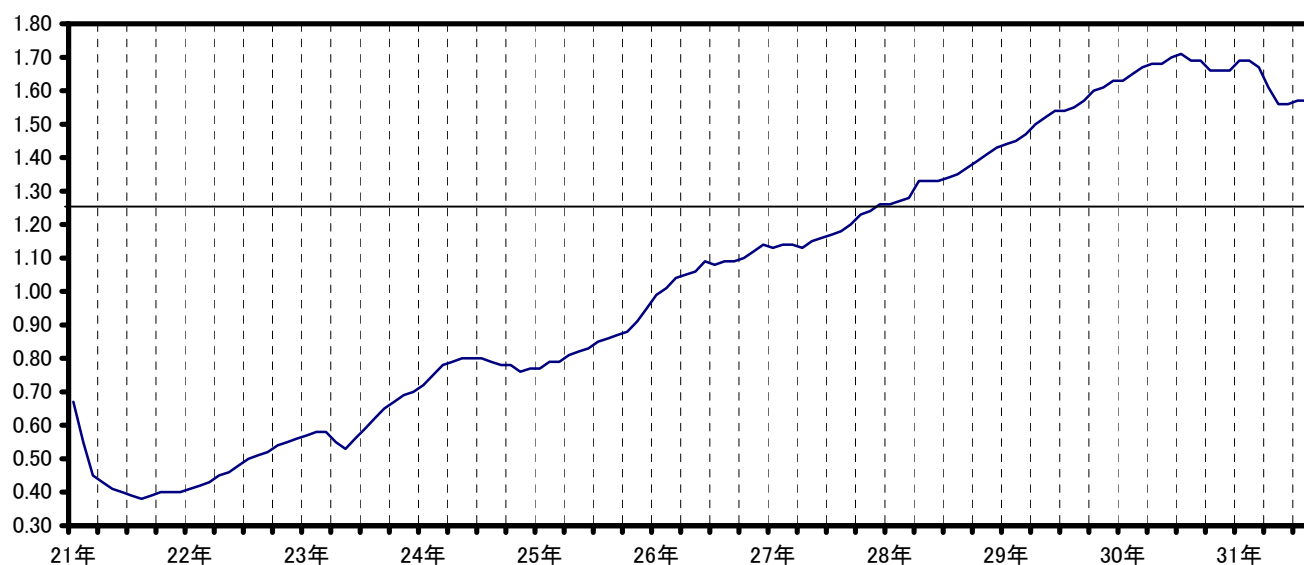
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省





(2) 雇用保険受給者実人員

8月 = 11,366人

\*前月比: 0.5%減

\*前年同月比: 0.4%減

<概況>

8月の雇用保険受給者実人員は11,366人で、前月比は0.5%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は0.4%減と3か月ぶりに前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.2%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成31年4月~令和元年6月)の完全失業率は2.0%で、前期(平成31年1月~3月)から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
実人員(人)	9,922	9,522	9,466	9,725	10,787	10,637	11,426	11,366
前月比(%)	3.6	▲4.0	▲0.6	2.7	10.9	▲1.4	7.4	▲0.5
前年同月比(%)	▲2.3	▲1.1	0.1	5.3	▲0.5	1.2	4.1	▲0.4
(参考)全国前年同月比(%)	1.4	1.8	0.8	6.6	▲0.3	2.1	4.8	▲1.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.3	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2

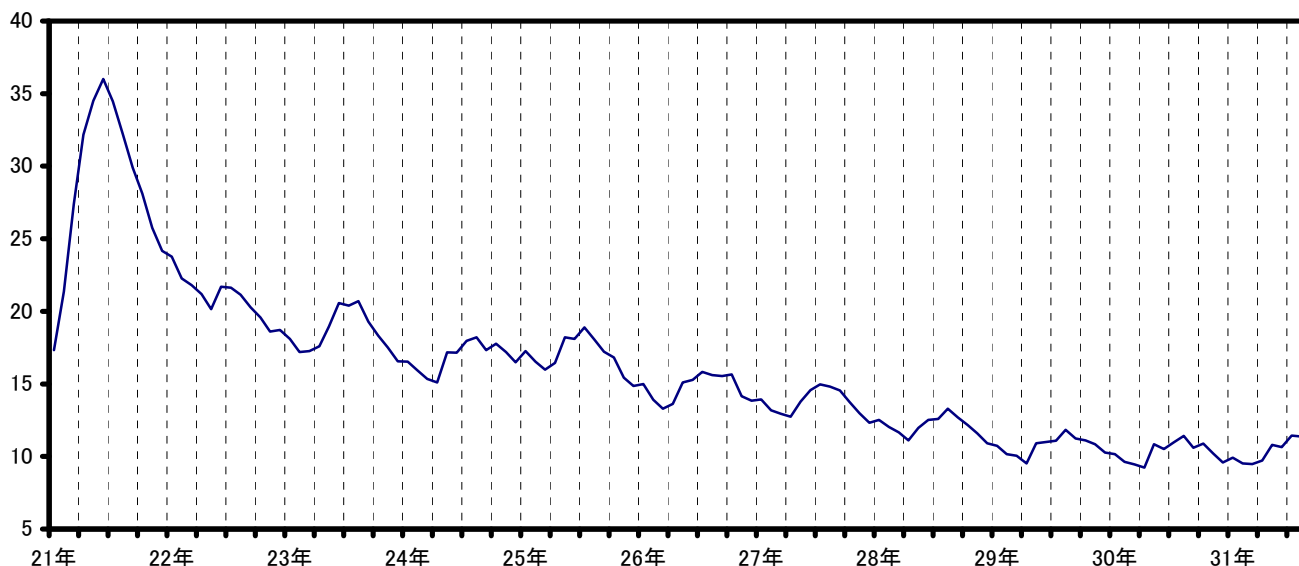
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

7月 = 88.4

\*前月比(季節調整済指数): 5.1%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 8.9%減

#### <概況>

7月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は88.4(季節調整済指数)で、前月比5.1%増となった。また、前年同月比(原指数)は8.9%減と6か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比137.8%増)が2か月連続、情報通信業(同28.9%増)が21か月連続、卸売業・小売業(同21.2%増)が9か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同19.1%減)が9か月連続、医療・福祉(同6.9%減)が2か月連続、その他のサービス業(同3.7%減)が8か月ぶりに前年実績を下回った。運輸業・郵便業は前年実績と同水準だった。

#### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月
指数	91.5	95.1	95.2	92.9	92.4	88.0	84.1	88.4
前月比(%)	▲6.0	3.9	0.1	▲2.4	▲0.5	▲4.8	▲4.4	5.1
前年同月比(%)	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6	▲1.5	▲8.9	▲11.1	▲8.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.0	0.9	0.8	▲0.8	0.8	0.0	▲0.8	▲0.8

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月
建設業	▲49.0	163.6	159.3	151.5	94.7	▲69.9	103.2	137.8
製造業	▲3.6	▲5.4	▲6.4	▲9.7	▲10.1	▲9.8	▲18.4	▲19.1
情報通信業	71.4	57.5	52.6	60.9	77.5	20.3	25.5	28.9
運輸業・郵便業	▲2.7	▲3.7	▲17.8	▲3.6	▲2.4	▲5.5	▲8.1	0.0
卸売業・小売業	11.7	11.6	15.7	4.3	3.6	24.3	10.7	21.2
医療・福祉	▲11.7	6.1	30.1	40.8	20.9	35.5	▲17.7	▲6.9
その他のサービス業	4.2	20.8	11.0	15.6	0.0	21.7	1.4	▲3.7
調査産業計	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6	▲1.5	▲8.9	▲11.1	▲8.9

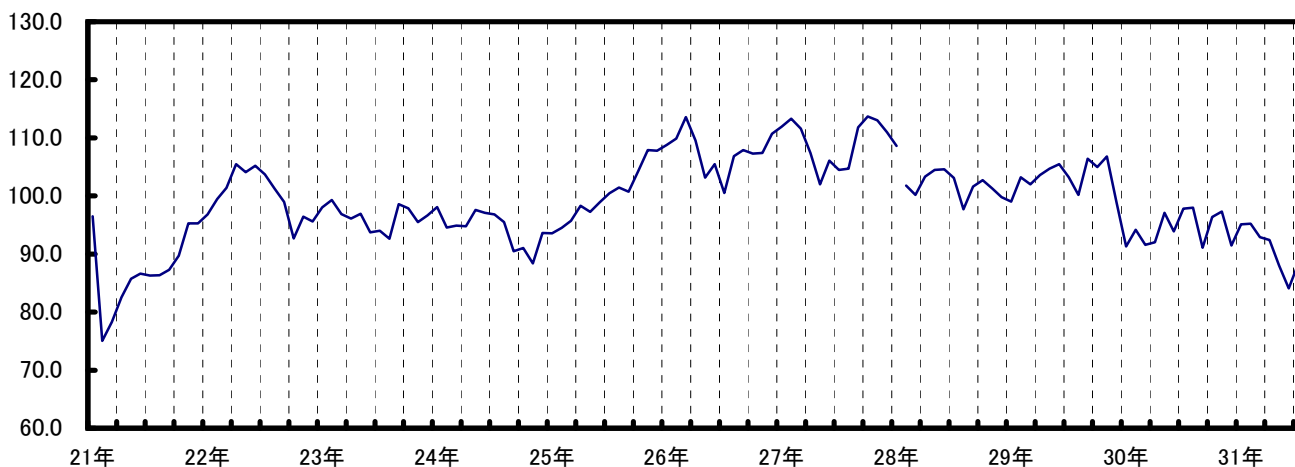
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

(平成27年=100)

9 月 = 100.9

\*前 月 比: 同水準

\*前年同月比: 1.1%下落

#### <概 況>

9月の国内企業物価指数は100.9となり、前月と同水準だった。また、前年同月比は1.1%の下落となった。

#### <最近の動き>

	31年2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月
国内企業物価指数	101.2	101.5	101.8	101.7	101.2	101.2	100.9	100.9
前 月 比 (%)	0.3	0.3	0.3	▲ 0.1	▲ 0.5	0.0	▲ 0.3	0.0
前年同月比 (%)	0.9	1.3	1.2	0.6	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 1.1

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

8 月 = 135,630億円

\*前 月 比: 0.03%減

\*前年同月比: 1.8%減

#### <概 況>

8月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は135,630億円で、前月比は0.03%の減少となった。また、前年同月比は1.8%の減少となった。

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
貸出残高(億円)	137,565	137,331	138,361	136,078	135,374	136,062	135,675	135,630
前 月 比 (%)	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8	▲ 1.7	▲ 0.5	0.5	▲ 0.2	▲ 0.0
前年同月比 (%)	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 1.9	▲ 1.8

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

8 月 = 1.786%

\*前 月 差: 0.008ポイント減

\*前年同月差: 0.213ポイント減

#### <概 況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.786%で、前月から0.008ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.213ポイントのマイナスとなった。

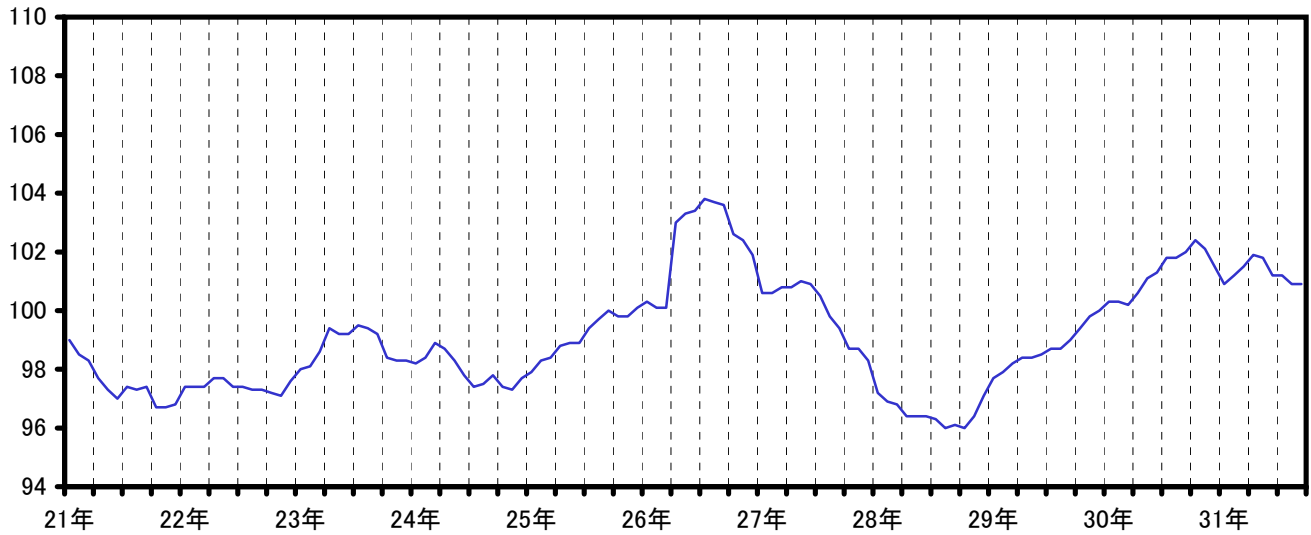
	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
貸出約定金利(%)	1.920	1.909	1.885	1.844	1.833	1.813	1.794	1.786
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.011	▲ 0.024	▲ 0.041	▲ 0.011	▲ 0.020	▲ 0.019	▲ 0.008
前年同月差(ポイント)	▲ 0.186	▲ 0.191	▲ 0.187	▲ 0.226	▲ 0.215	▲ 0.209	▲ 0.224	▲ 0.213

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

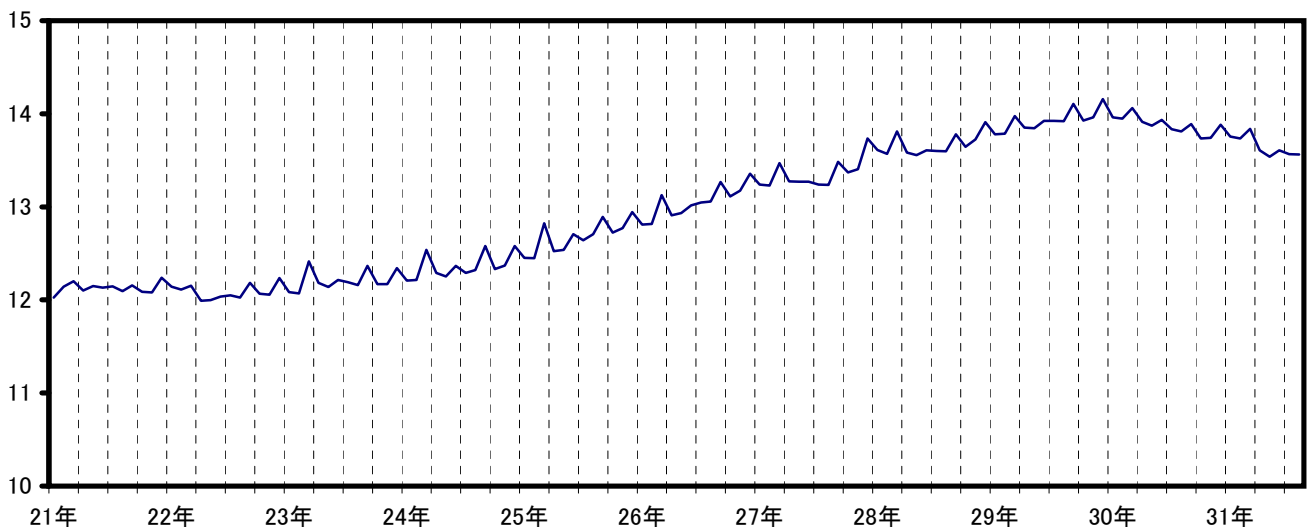
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



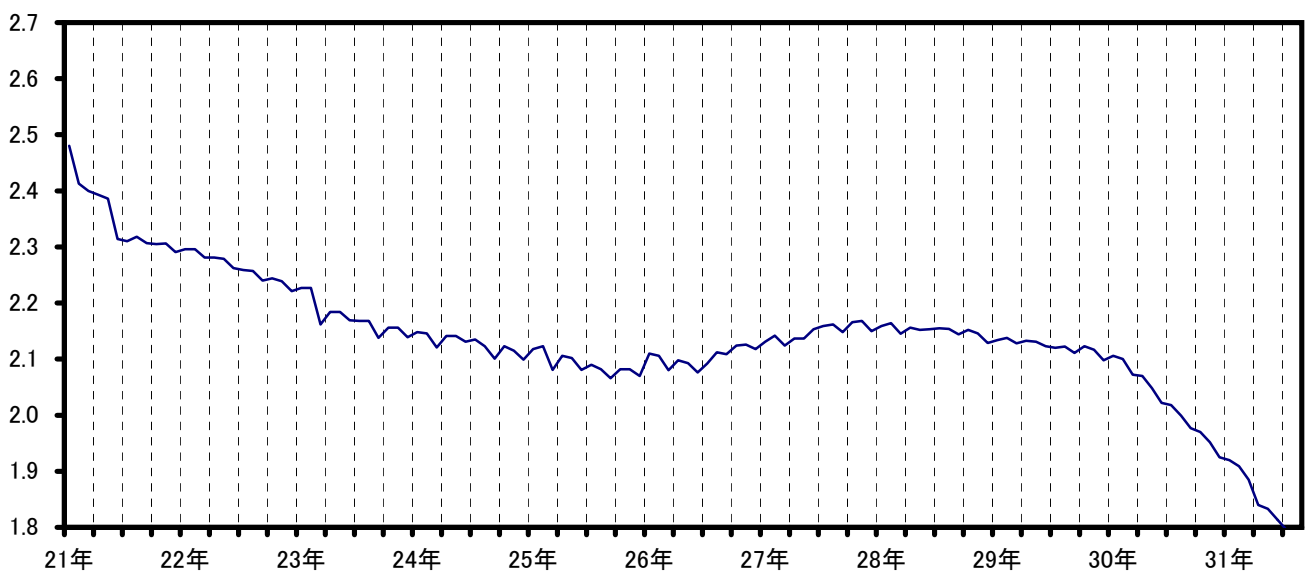
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****8月 = 14,709百万円**

\*前年同月比： 15.4%減

## &lt;概況&gt;

8月の保証承諾は、金額は14,709百万円（前年同月比 15.4%減）、件数は1,617件（同 18.7%減）と、いずれも10か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
保証金額（百万円）	12,720	16,016	19,263	11,215	12,821	14,713	15,500	14,709
前年同月比（%）	▲ 6.7	▲ 7.5	▲ 20.2	▲ 7.2	▲ 28.7	▲ 19.8	▲ 18.5	▲ 15.4
保証件数（件）	1,340	1,593	1,927	1,339	1,406	1,545	1,667	1,617
前年同月比（%）	▲ 9.8	▲ 12.7	▲ 16.7	▲ 5.8	▲ 11.3	▲ 21.1	▲ 13.2	▲ 18.7

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****9月 = 107.41円/ドル**

\*前月差： 1.14円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 4.48円高

## &lt;概況&gt;

9月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.41円で、前月と比べて1.14円の円安となり、2か月ぶりに円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	31年2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月
平均相場（円）	110.36	111.21	111.66	109.83	108.06	108.22	106.27	107.41
前月差（円）	1.41	0.85	0.45	▲ 1.83	▲ 1.77	0.16	▲ 1.95	1.14
前年同月差（円）	2.54	1.52	4.23	0.14	▲ 1.97	▲ 3.15	▲ 4.79	▲ 4.48

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****9月 = 20件**

\*前年同月比： 100.0%増

## &lt;概況&gt;

9月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は20件（前年同月比 100.0%増）と、前年同月比を上回り、負債総額は1,542百万円（同 132.9%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の85.0%を占め、262か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

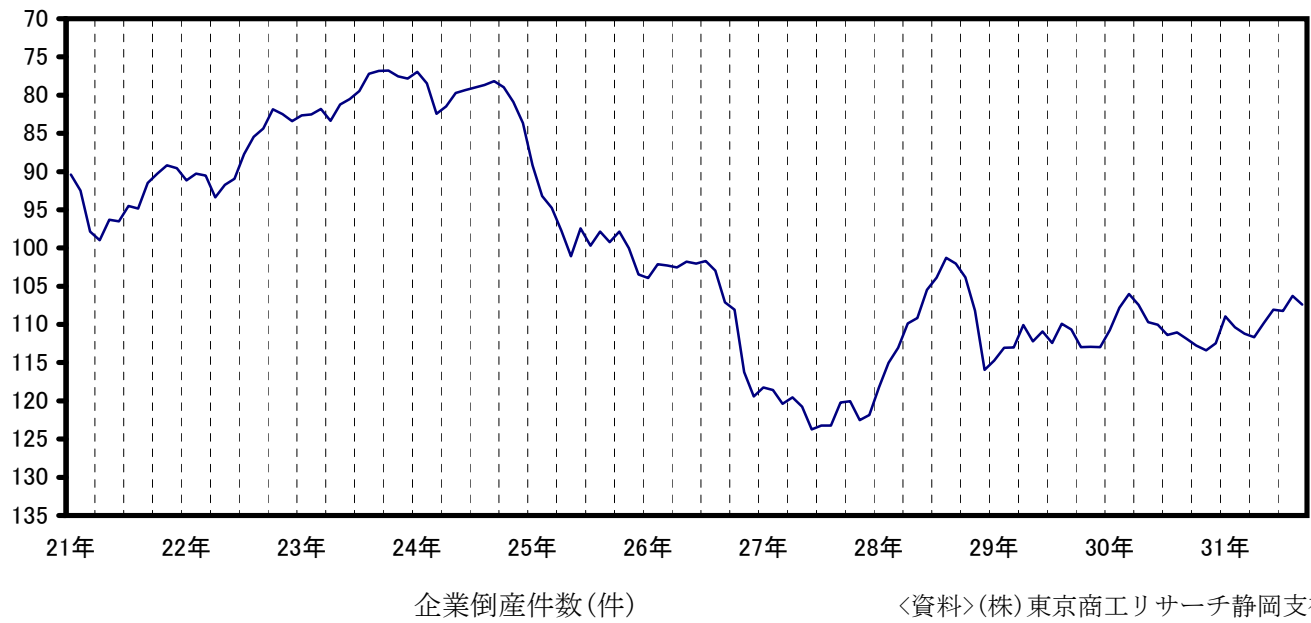
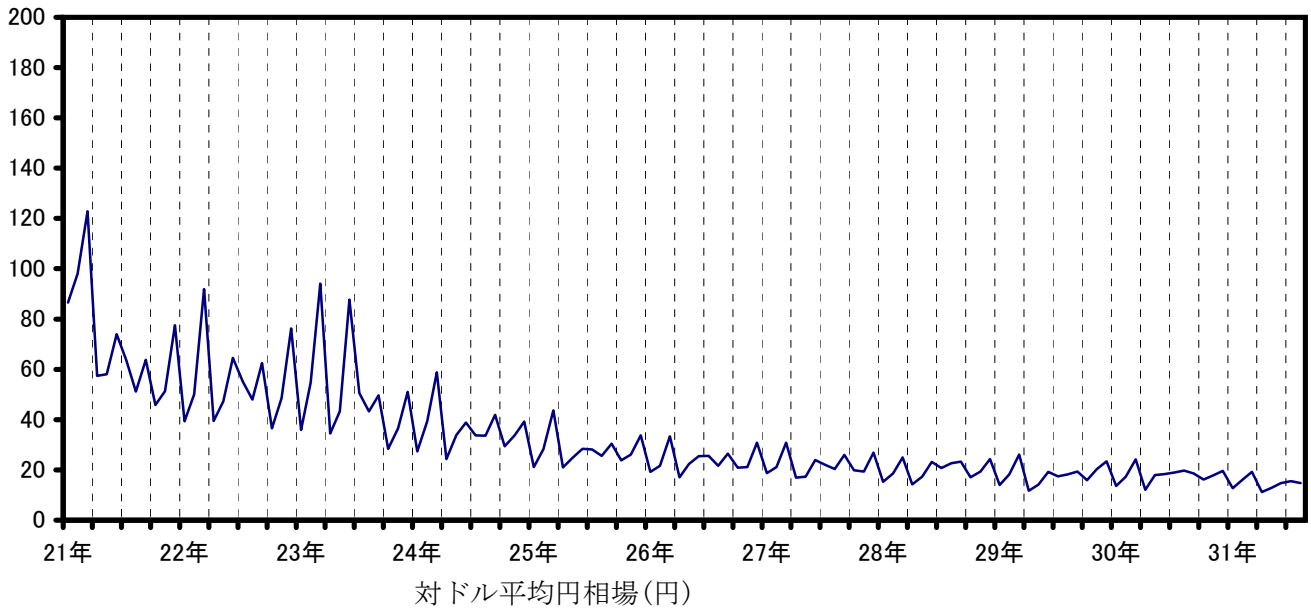
	31年2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月	9月
倒産件数（件）	12	12	16	17	14	29	12	20
前年同月比（%）	▲ 45.4	▲ 53.8	33.3	▲ 29.1	▲ 48.1	81.2	▲ 45.4	100.0
うち不況型倒産件数（件）	9	12	15	14	12	26	11	17
負債総額（百万円）	1,495	4,320	2,457	1,847	3,193	3,911	1,458	1,542
前年同月比（%）	▲ 44.3	40.9	16.2	▲ 39.7	▲ 40.2	86.3	▲ 37.3	132.9

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

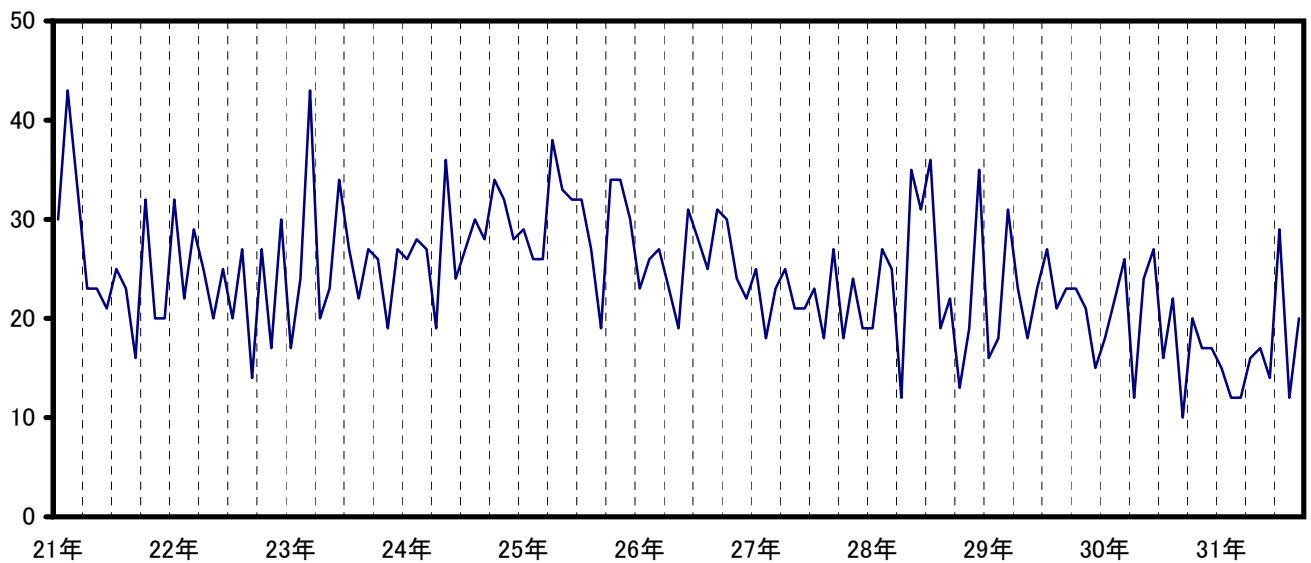
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和元年8月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、48,727台（前年同月比 7.0%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、14,063台（同 1.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,401台（同 8.0%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、7,574台（同29.6%増）で、10か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、21,689台（同17.8%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、33,645台（同 4.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、31,162台（同 5.8%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>7月の自動車国内生産台数は、896,906台（前年同月比 11.8%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は445,714台（同 17.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックがいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>8月の冷蔵庫の国内出荷額は430億円（前年同月比 4.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は392千台（同 0.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>8月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは960千台（同 17.4%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は83千台（同 3.3%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>8月の携帯電話の国内出荷台数は、972千台（同 16.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、561千台（同 29.9%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 57.7%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>8月の工作機械の受注総額は、884億8,700万円（前年同月比 37.0%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は509億4,600万円（同 34.7%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが207億200万円（同 39.0%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。内需は375億4,100万円（同 39.8%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「中国経済の落ち込みの影響が大きい。」という声や「親会社の受注減で売上が減少し、当面その傾向が続く予想。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>8月の県内楽器メーカーの販売金額は、45億665万円（前年同月比 0.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが24億6,977万円（同 3.9%減）で、国内向けが20億3,688万円（同 5.6%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,549台（同 3.3%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,685台（同 2.4%減）、グランドピアノ864台（同 4.8%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,229台（同 1.9%減）、国内向けが950台（同 5.2%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>8月の紙・板紙の国内出荷高は、1,870千ト（前年同月比 4.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は998千ト（同 3.2%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。板紙は873千ト（同 6.0%減）と、2か月ぶりで前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、541千ト（同 3.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、151千ト（同6.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>8月の県内生産量は、食缶類が国内向け901千箱（前年同月比 6.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は603千箱（同13.3%減）と4か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は473千箱（同13.0%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は298千箱（同10.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,578千箱（同11.2%減）と、7か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>8月の広幅織物の県内生産は、1,070千㎡（前年同月比 6.9%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、986千㎡（同 8.4%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、84千㎡（同 16.2%増）で、23か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、20千㎡（同 14.7%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>8月の全国百貨店での家具販売額は、54億1,474万円（前年同月比 11.5%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、559億6,753万円（同 1.0%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>



業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>8月の県内百貨店・スーパーの販売額は、34,021百万円（既存店前年同月比1.4%減）と前年実績を下回った。品目別で見ると、前年同月の売上げを下回ったのは飲食料品とその他の商品、食堂・喫茶で、特に食堂・喫茶は他県と比較して大きな減少があった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、家での調理が減っている傾向が見られ、弁当・惣菜は前年と同様の売上げを維持したが、青果、精肉、鮮魚の売上げが伸び悩み、全体売上げが前年を下回った。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、低気温で夏物の衣料品の売上げが伸び悩んだが、消費税の増税を控え、単価の高い生活用品の需要が高まり、全体売上げとして前年同月を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、これまで取り扱いのなかった家具のプロモーションによる販売が好調であったが、比較的単価の高い雑貨（美術・宝飾・貴金属等）の売上げ減少が響き、全体売上げが前年を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>8月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約51万人で、前年同月比3.2%減だった。</p> <p>浜名湖ガーデンパークでは、夏休み期間における水遊び広場やひまわり畑への入込が多く、今年度は、8月における休日が昨年度より多かったため、入込客数は前年度より増加した。一方で、県立美術館は、昨年度に比べて展示企画への入込が伸びず、入込客数は前年度より減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）の合計通行車両数は、約88万台となり、前年同月に比べて1.1%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
完成車生産台数(台)	24,560	24,286	25,212	21,861	18,909	18,538	17,742	22,023	16,219
前年同月比(%)	79.2	84.4	20.6	12.7	16.5	30.2	15.1	72.3	149.9
KD輸出額(百万円)	754	765	816	795	863	1,168	931	1,528	959
前年同月比(%)	42.0	41.9	25.4	54.2	14.7	103.6	63.2	159.4	153.7

### <楽器>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
生産総額(百万円)	2,952	2,812	3,032	3,150	3,308	3,192	3,151	3,617	2,470
前年同月比(%)	▲ 10.5	10.9	4.4	2.5	6.4	1.1	▲ 0.9	13.5	▲ 3.9

### <缶詰>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
食缶生産高(千ケース)	949	925	891	1,008	1,001	890	946	1,071	901
前年同月比(%)	6.1	14.8	1.4	0.0	5.8	▲ 7.3	▲ 1.8	7.6	▲ 6.7
うち水産缶詰(%)	7.0	18.8	0.5	0.7	5.9	▲ 9.1	▲ 7.8	▲ 2.9	▲ 13.3
農畜産缶詰(%)	4.2	5.3	3.3	▲ 1.2	5.5	▲ 3.2	11.9	32.8	10.0
飲料缶生産高(千ケース)	6,135	4,650	5,548	7,730	7,745	8,036	8,279	8,377	6,578
前年同月比(%)	11.3	▲ 0.9	6.8	11.2	12.7	0.1	12.0	17.3	▲ 11.2

### <繊維>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
広幅織物(千㎡)	1,639	1,532	1,392	1,358	1,278	1,206	1,163	1,096	1,070
前年同月比(%)	3.1	1.1	4.4	2.0	0.4	2.6	▲ 1.1	▲ 3.7	▲ 6.9
小幅織物(千㎡)	31	29	27	26	27	26	26	24	20
前年同月比(%)	▲ 6.4	▲ 7.5	▲ 22.6	▲ 24.9	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 7.3	▲ 12.3	▲ 14.7

### <観光>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R元年5月	6月	7月	8月
観光施設(10施設)入込 (千人)	283	305	278	480	557	651	327	304	514
前年同月比(%)	12.5	6.6	5.6	▲ 6.3	8.2	21.4	8.4	6.0	▲ 3.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	730	675	667	780	719	760	659	726	881
前年同月比(%)	0.7	5.6	6.8	▲ 0.3	2.8	5.7	0.4	▲ 3.4	▲ 1.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
令和元年10月号 通巻522号

発行 静岡県経済産業部  
令和元年10月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>